羽村市議会議員
桜沢ひろと

～活動報告～

- 3月定例会一般質問
- 令和6年度予算
- その他

3月定例会一般質問

３月１日の本会議では、能登半島地震を受け、「防災」に関して一般質問を行いました。今回は１期議員３人で連携して質問することにより、防災に関する課題を幅広く扱うことができました。正式な会議録は羽村市のホームページからご確認ください。私のホームページでも質問の原稿を公開していますので、そちらもせひご覧ください。

【用語解説など】
〇計画：「羽村市地域防災計画」のこと。
〇都被害想定：令和４年に東京都が公表した立川断層帯地震（最大震度７）における被害の想定のこと。
〇感震ブレーカー：地震を感知し自動で電気を遮断。
〇＊（赤字）：質問に関する補足説明など。

<問>計画や都被害想定から、市の備蓄物資（食料等）が不足すると考えるが、市の検討状況は。
<答>市は発災後３日分以上の食料を備えているが、避難が長引けば不足する。その場合、都や他の自治体、民間企業等に要請。市民には各自で３～７日分の食料の備蓄を呼びかけている。

<問>計画と都被害想定を比較した上で、市の防災に関する課題をどう捉えているか。
<答>水道断水率は他市と比較して高い状況にある。建物被害、人的被害、交通・ライフライン、市民生活への影響などへのさらなる対策が課題である。
＊感震ブレーカーの設置補助について再質問。

<問>家庭での備蓄が十分でないことから、他の自治体を参考に、家庭用防災用品購入の補助制度を導入しては。
<答>他の自治体での取組等を情報収集するなど、調査・研究する。
＊国分寺市や武蔵野市など、都内で補助制度を実施しているところもある。

<問>市との協定により避難所となる民間施設について、構造体・非構造部材の点検状況を把握しているか。
<答>把握していない。
＊民間施設とはいえ、避難所として活用する以上、施設の安全性の確認を要望。

<問>市の在宅避難への考え方は。
<答>自宅に倒壊の危険性がなく引き続き生活できる場合は、在宅での生活を継続する「在宅避難」を推奨。
＊「推奨」と明言したことを評価。過去の広報では、在宅避難を「（避難の）方法の一つ」としていた。

紙幅の関係で全ての活動を掲載できないため、質問の詳細や
過去・現在の活動報告などは以下の二次元バーコードからご覧ください！

羽村市緑ヶ丘1-9-36　☎ 090-6853-9146
✉100-hamura@100-hamura.sakura.ne.jp
https://100-hamura.sakura.ne.jp/wp/
X（旧twitter）　@sakurazawa_hiro
facebook　桜沢ひろと
LINE　@355jjsnd

（HP）　（X）　（LINE）

〈討議資料〉